

中国における慢性関節リウマチに対する鍼灸取穴法則の分析

鈴木 聡, 森 和, 佐々木和郎, 東郷 俊宏

鈴鹿医療科学大学 鍼灸学部 鍼灸学科

I. はじめに

慢性関節リウマチ (RA) とは原因不明の慢性関節炎を特徴とする疾患で、主な病変は滑膜で発生し、進行すると軟骨破壊、関節裂隙狭窄、関節のこわばり、奇形、骨格筋萎縮などを起こし、最終的には重度の身体障害を招く。また QOL や社会活動の低下を招き、人々の健康に重大な危害を加えていることから本疾患の原因解明と治療法の確立は世界的にも重要課題の 1 つになっている。

中国では RA に対する鍼灸治療は幅広くおこなわれており、臨床研究も数多く、一定の効果があると発表されている。しかし治療手段、選穴法、刺激量等の違いから、多くの治療方法の中から最も良いものを選ぶことが非常に難しいのが現状である。

そこで今回は鍼灸治療効果に影響を与える患者の病状、治療手段、取穴、刺激量等の中から、取穴に注目し、中国では RA に対する鍼灸治療でどのような取穴がなされているか分析、検討をおこなった。

II. 方法

国家中医药管理局中国中医药文献センターで 1994 年～ 2003 年の間に中国国内で発表された「鍼灸を用

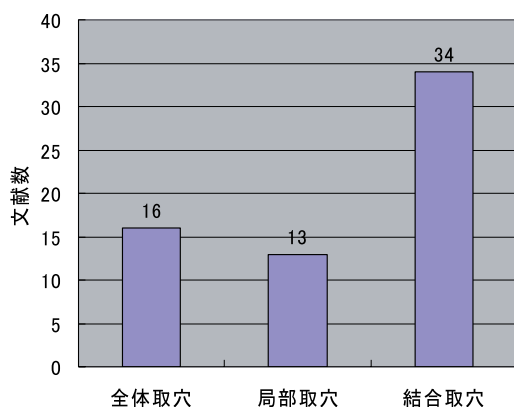
いた RA の臨床治療に関する文献」を、検索キーワードを「類風湿性関節炎(中国語で RA を指す)」、「鍼灸」、「臨床研究」として、CNKI (中国期刊全文数据库) を用いて検索した。選択条件は取穴部位が明記されているものとし、鍼灸治療の範疇に属す経穴注射、火鍼、蜂鍼等や鍼灸と薬物の併用療法等は含むことにした。また中国伝統医学では RA を痺証や尪痺と表現する場合があるが、これらに関する文献は除外した。最終的に条件を満たした 63 篇¹⁻⁶³⁾ について調査、分析をおこなった。

取穴方法の分類は全体取穴、局所取穴、全体と局所を組み合わせた結合取穴の 3 種類に分けた。なお全体取穴は中国伝統医学理論の弁証にもとづいた取穴法や RA に対する現代医学的病態把握にもとづいた取穴法を含め、局所取穴は全体取穴以外の直接患部或いは患部付近の経穴を取る方法とした。

III. 結果

1) 取穴方法

63 篇の文献分析結果から、最も多く使用されているのは結合取穴 34 篇 (54.0%) であり、そのうち全体取穴を主とするものは 19 篇 (30.2%)、局所取穴を主と



取穴方法	全体取穴	局部取穴	結合取穴
文献数	16 篇 (25.4%)	13 篇 (20.6%)	34 篇 (54.0%)

図1 RA 鍼灸治療に用いられている取穴方法

表1 RA 鍼灸治療に用いられている経穴及び頭皮鍼治療区

経	経穴
肺経(3)	尺沢(3)
大腸経(110)	二間(1) 三間(2) 合谷(17) 陽谿(18) 手三里(5) 曲池(42) 肘髎(1) 手五里(1) 臂臑(5) 肩髃(18)
胃経(79)	下関(1) 陰市(1) 梁丘(7) 犢鼻(5) 足三里(42) 豊隆(2) 解谿(20) 内庭(1)
脾経(39)	大都(2) 商丘(4) 三陰交(7) 陰陵泉(13) 血海(13)
心経(4)	極泉(1) 少海(2) 神門(1)
小腸経(27)	前谷(1) 後谿(2) 腕骨(4) 陽谷(7) 養老(3) 小海(1) 肩貞 (7) 天宗(1) 曲垣(1)
膀胱経(81)	大杼(4) 風門(2) 肺兪(1) 膈兪(7) 肝兪(11) 脾兪(10) 腎 兪(17) 関元兪(1) 承扶(2) 委中(6) 秩辺(4) 飛陽(2) 崑 崙(10) 申脈(2) 束骨(2)
腎経(14)	太谿(11) 照海(2) 復溜(1)
心包経(6)	曲沢(4) 大陵(2)
三焦経(51)	液門(1) 中渚(4) 陽池(14) 外関(18) 支溝(3) 天井(4) 肩 髎(7)
胆経(65)	風池(4) 環跳(7) 風市(5) 膝陽関(2) 陽陵泉(31) 光明(1) 懸鍾(3) 丘墟(10) 臨泣(2)
肝経(13)	行間(1) 太衝(7) 中封(1) 膝関(3) 曲泉(1)
任脈(24)	関元(6) 気海(5) 神厥(3) 中脘(6) 臑中(4)
督脈(60)	腰兪(1) 腰陽関(3) 命門(11) 懸樞(1) 中樞(1) 筋縮(3) 至陽(5) 霊台(1) 神道(5) 身柱(3) 陶道(1) 大椎(22) 風 府(1) 百会(1) 水溝(1)
奇穴(65)	華佗夾脊(9) 肩内(3) 肩前陵(1) 肩後陵(1) 八邪(17) 十宣 (1) 鶴頂(3) 膝眼(15) 八風(13) 四強(1) 天応(1)
頭皮針(2)	感覚区上 2/5(1) 足運感区(1)

(篇)

表2 RA 鍼灸治療に用いられている全体取穴

経絡	経穴
肺経(0)	
大腸経(48)	三間(1) 合谷(11) 陽谿(3) 手三里(2) 曲池(26) 手五里(1) 肩髃(4)
胃経(38)	陰市(1) 足三里(31) 豊隆(2) 解谿(4)
脾経(23)	商丘(1) 三陰交(7) 陰陵泉(7) 血海(8)
心経(1)	極泉(1)
小腸経(1)	後谿(1)
膀胱経(55)	大杼(4) 風門(2) 肺兪(1) 膈兪(7) 肝兪(11) 脾兪(10) 腎兪(17) 関元兪(1) 委中(29)
腎経(7)	太谿(6) 復溜(1)
心包経(0)	三焦経(10) 中渚(1) 外関(6) 支溝(3)
胆経(27)	風池(4) 環跳(2) 風市(3) 膝陽関(1) 陽陵泉(14) 光明(1) 懸鍾(1) 丘墟(1)
肝経(7)	太衝(7)
任脈(24)	関元(6) 氣海(5) 神厥(3) 中脘(6) 臍中(4)
督脈(58)	腰陽関(3) 命門(11) 懸枢(1) 中樞(1) 筋縮(3) 至陽(5) 靈台(1) 神道(5) 身柱(3) 陶道(1) 大椎(21) 風府(1) 百会(1) 水溝(1)
奇穴(14)	華佗脊椎(9) 膝眼(2) 十宣(1) 四強(1) 天応(1)
頭皮鍼(2)	感觉区上 2/5(1) 足運感区(1)

(篇)

するものは15篇(23.8%)であった。その他の取穴方法は全体取穴16篇(25.4%)、局所取穴13篇(20.6%)であった(図1)。

2) 使用経穴

RAに対する鍼灸治療で用いられている正穴(十四経絡に属する経穴)は全部で97個であった。その他奇穴(十四経絡に属さない経穴)11個、頭皮鍼治療区2箇所であった。経絡別の経穴使用頻度をみると手足の三陽経、督脈、足の太陰脾経に属する経穴が多く用いられていた。また使用頻度の高い経穴は足三里(42篇)、曲池(42篇)、陽陵泉(31篇)、大椎(22篇)、解谿(20篇)、肩髃(18篇)、外関(18篇)、陽谿(18篇)、合谷(17篇)、腎兪(17篇)、八邪(17篇)、膝眼(15篇)、陽池(14篇)、陰陵泉(13篇)、血海(13篇)、八風(13篇)等であった(表1)。

3) 全体取穴

全体取穴を経脈別にみると、頻用度の高いものから督脈(58篇)、足の太陽膀胱経(55篇)、手の陽明大腸経(48篇)、足の陽明胃経(38篇)、足の少陽胆経(27篇)となっており、経穴では足三里(31篇)、曲池(26篇)、大椎(21篇)、腎兪(17篇)、陽陵泉(14篇)、合谷(11篇)、肝兪(11篇)、命門(11篇)、脾兪(10篇)の順で、治療穴として頻用されていることが分かった(表2)。

4) 局所取穴

局所取穴では病状が肩部にある場合、肩髃(14篇)、肩髃(7篇)、肩貞(7篇)が多く使われていた。肘部では曲池(16篇)、手関節部では陽谿(15篇)、陽池(14篇)、指部では八邪(17篇)が多く使われていた。膝部では膝眼(13篇)、踝部では解谿(16篇)、崑崙(10篇)、趾部では八風(13篇)が多く使用されていた(表

表3 RA 鍼灸治療に用いられている局所取穴

発病部位	経穴
顔面部(1)	下関(1)
頸胸椎部(1)	大椎(1)
腰部(1)	腰俞(1)
肩関節部(26)	肩髃(14) 肩髃(7) 肩内(3) 肩前陵(1) 肩後陵(1)
肩甲部(9)	肩貞(7) 天宗(1) 曲垣(1)
上腕部(6)	臂臑(5) 肘髎(1)
肘部(30)	曲池(16) 曲沢(4) 天井(4) 尺沢(3) 少海(2) 小海(1)
前腕(18)	手三里(3) 外関(12) 養老(3)
手関節部(43)	陽谿(15) 陽池(14) 陽谷(7) 腕骨(4) 大陵(2) 神門(1)
手(1)	後谿(1)
手背部(9)	合谷(6) 中渚(3)
指部(21)	前谷(1) 二間(1) 三間(1) 液門(1) 八邪(17)
殿部(4)	秩辺(4)
股関節部(5)	環跳(5)
大腿部(16)	承扶(2) 風市(2) 血海(5) 梁丘(7)
膝部(23)	鶴頂(3) 膝眼(13) 犢鼻(5) 膝陽関(1) 曲泉(1)
膝窩部(4)	委中(4)
下腿部(43)	陽陵泉(17) 足三里(13) 飛揚(2) 懸鍾(2) 陰陵泉(2) 膝関(3) 三陰交(4)
踝部(30)	解谿(16) 崑崙(10) 商丘(3) 中封(1)
足部(11)	太谿(5) 申脈(2) 束骨(2) 照海(2)
足背部(12)	丘墟(9) 臨泣(2) 内庭(1)
趾間部(1)	行間(1)
趾部(15)	大都(2) 八風(13)

(篇)

注：発病部位と経穴の関係は上海科学技術出版社が出版した鍼灸学（第6版）にある穴位主治提要表にもとづいた。

3)。

IV. 考察

以上の結果から RA 鍼灸治療の取穴方法では全体取穴と局所取穴を組み合わせた結合取穴が多く用いられていることが分かる。また結合取穴の中では全体取穴を主とするものが多く、全体取穴だけでも 17 篇 (25.8%) を占めることから全体取穴が RA 治療において重要視されていることが分かった。このことは、RA は関節症状を主症状とする疾患であるが、全身的

な治療を主とし、局所の治療を加えていく方が治療効果に期待ができることを示唆している。

治療部位は経穴 108 個と頭皮鍼治療区 2 箇所におよび、手足の三陽経、督脈に属する経穴が最も多く用いられていた。また個別にみると使用頻度の高い足三里、曲池、陽陵泉、大椎、解谿、肩髃、外関、陽谿、合谷等は四肢の陽経に属す経穴であることがわかる。これらから鍼灸治療 RA の取穴には明らかな法則性があり、四肢の陽経および督脈を主とした取穴法が RA の鍼灸治療に対して主導的役割をはたしていることが

示唆された。

全体取穴は臨床において重要な位置を占めており、督脈、足の太陽膀胱経、手の陽明大腸経、足の陽明胃経、足の少陽胆経等、督脈及び陽経に属する経穴が78.5%と高い頻度で用いられていることが分かる。

局所取穴は発病部位に応じて決められている。RAは多関節を侵す特徴を持つため多く関節付近の経穴が用いられているが、84.5%の頻度で陽経に属する経穴を用いていることが分かった。

V. 結論

1. 中国における慢性関節リウマチに対する鍼灸治療では局所取穴よりも弁病や弁証を含む全体取穴法が重要視されていた。
2. 治療穴では全体、局所取穴を問わず督脈および四肢の陽経に属する経穴が多用されていることが分かった。
3. 今後研究設計と統計処理を厳密に行い、統一の効果判定基準を用いることで、得られた結果に客観性と妥当性が得られると考える。

文献

1. 韓建中, 順勢伏針法治療類風湿性関節炎 30 例, 江蘇中医, 20 (7), 40, 1999
2. 王永槐, 深刺多針法治療類風湿性関節炎, 針灸臨床雜誌, 12 (5, 6), 96, 1996
3. 王偉明, 陳漢平, 楊臻, 他, 不同間接灸治療類風湿性関節炎の臨床分析, 上海針灸雜誌, 20 (2), 9-11, 2001
4. 王偉明, 楊臻, 康雲蘭, 他, 間接灸治療類風湿性関節炎療效觀察, 上海針灸雜誌, 18 (6), 5-7, 1999
5. 陳荷光, 脊柱鋪灸治療類風湿性関節炎 42 例, 浙江省中医学院学報, 22 (1), 35, 1998
6. 何繼紅, 王世彪, 長蛇灸治療類風湿性関節炎 37 例, 浙江中医雜誌, 29 (3), 126-127, 1994
7. 余瑞平, 冷灸治療類風湿性指間関節炎療效觀察, 中国針灸, 23 (2), 85-86, 2003
8. 周嘉陵, 朱琦, 針灸治療類風湿性関節炎の臨床観

- 察, 中華風湿病雜誌, 4 (3), 169-171, 2000
9. 李玲, 暖針治療類風湿性関節炎 35 例臨床療效觀察, 天津中医学院学報, 18 (3), 31-32, 1999
10. 馬朱紅, 劉心蓮, 尹淑英, 他, 温針治療類風湿性関節炎機理初探, 針灸臨床雜誌, 13 (9), 21-23, 1997
11. 石金橋, 張玉亭, 温針壯督法治療類風湿性関節炎療效觀察, 針灸臨床雜誌, 12 (4), 19, 1996
12. 茉莉, 倫新, 蜂針治療類風湿性関節炎の臨床觀察, 中医外治雜誌, 11 (2), 14-15, 2002
13. 蔡京, 蜂針治療類風湿性関節炎 42 例臨床觀察, 安徽中医臨床雜誌, 9 (1), 16-17, 1997
14. 許洪平, 陳允旺, 丁祥生, 他, 蜂針療法治療類風湿性関節炎 59 例, 江蘇中医, 17 (7), 32-33, 1996
15. 鮑慶祥, 穴位注射蜂毒治療類風湿性関節炎 172 例療効觀察, 針灸臨床雜誌, 15 (6), 38-39, 1999
16. 管遵惠, 陳莉莉, 段曉蓉, 正清風痛寧穴位注射風湿, 類風湿性関節炎治療 69 例, 上海針灸雜誌, 16 (5), 6-7, 1997
17. 李文增, 火針治療類風湿性関節炎 25 例, 山西中医, 18 (3), 38, 2002
18. 吳宏東, 田文海, 付国賓, 火針治療類風湿性関節炎 45 例, 山西中医, 18 (5), 40-41, 2002
19. 胡蘭萍, 余立凱, 黃安斌, 他, 類風湿性関節炎の針灸及物理康復, 現代康復, 5 (9), 145, 2001
20. 李彬, 李岩, 中葯配合針灸治療早期類風湿性関節炎 46 例, 山東医業, 41 (19), 42, 2001
21. 任心榮, 李巍, 張全霞, 他, 針灸理療藥物綜合治療類風湿性関節炎 50 例臨床觀察, 新中医, 33 (9): 43-44, 2001
22. 崔林華, 郭瑞霞, 耿文, 温針灸在類風湿性関節炎中鎮痛作用, 針刺研究, 26 (3), 185-186, 2001
23. 周汝雲, 黃勝光, 李万瑶, 中医經驗方加蜂針療法治療類風湿性関節炎 40 例, 四川中医, 18 (8), 17-18, 2000
24. 李万瑶, 賴先娥, 鄧金鋒, 他, 蜂針治療類風湿性関節炎伴甲亢の病例觀察, 蜜蜂雜誌, (8), 13, 1994
25. 鄭春雷, 耳压治療類風湿性関節炎 58 例, 上海針灸

- 雜誌, 20 (5), 29, 2001
26. 魏福良, 張友貴, 長蛇灸配合針刺類風濕性關節炎 60 例, 安徽中醫學院學報, 21 (2), 30-31, 2002
 27. 朱冠珏, 皮內針加艾灸治療風寒濕痺型類風濕性關節炎 28 例觀察, 安徽中醫臨床雜誌, 14 (1), 28, 2002
 28. 賴龍勝, 胡玲香, 類風濕性關節炎的針灸治療体会, 針灸臨床雜誌, 18 (1), 3-4, 2002
 29. 榮莉, 倫新, 蜂針治療類風濕性關節炎 40 例臨床研究, 中國民間療法, 9 (12), 59-60, 2001
 30. 李大可, 孫麗麗, 周海蓉, 激光穴位照射配合中藥治療活動性類風濕性關節炎療效觀察, 山東中醫雜誌, 20 (10), 614-615, 2001
 31. 王強, 針灸對類風濕性關節炎患者免疫功能及對自由基類的影響, 中國中醫藥信息雜誌, 8 (8), 68, 2001
 32. 阮繼源, 方劍喬, 王捷, 解痺散結合溫針灸治療類風濕性關節炎, 中國中醫藥科技, 8 (4), 249, 2001
 33. 勞宏飛, 隔餅灸治療類風濕性關節炎 10 例, 浙江中醫學院學報, 25 (3), 71, 2001
 34. 施靜, 針灸關元穴治療類風濕性關節炎 50 例, 上海針灸雜誌, 18 (6), 13, 1999
 35. 古明高, 溫針為主治療類風濕性關節炎 32 例, 新中醫, 31 (12), 24, 1999
 36. 梁用華, “三伏”針灸治療類風濕性關節炎 30 例, 中國針灸, 19 (9), 544, 1999
 37. 曾紅英, 太乙神針治療類風濕性關節炎 57 例, 針灸臨床雜誌, 15 (8), 33, 1999
 38. 陸靜, 針刺治療類風濕性關節炎的治療效, 國外醫學·中醫中藥分冊, 21 (4), 44-45, 1999
 39. 白紅, 葉曉翔, 溫針加按摩治療類風濕性關節炎, 上海針灸雜誌, 18 (2), 22, 1999
 40. 管遵惠, 熱針對哮喘及類風濕性關節炎患者免疫球蛋白的影響, 中國中醫藥科技, 6 (1), 54, 1999
 41. 吳士高, 針灸綜合治療類風濕性關節炎 52 例, 浙江中醫雜誌, 33 (8), 368, 1998,
 42. 周志昆, 曾紅兵, 針灸治療類風濕性關節炎 30 例臨床觀察, 河北中醫藥學報, 13 (2), 37, 1998
 43. 姚奉理, 艾灸中醫藥治療類風濕性關節炎 51 例臨床觀察, 中國針灸, 18 (6), 333, 1998
 44. 毛遐先, 溫針為主治療類風濕性關節炎 30 例, 上海針灸雜誌, 6 (5), 8, 1997
 45. 任長春, 刺血為主治療類風濕性關節炎 46 例臨床觀察, 中國針灸, 17 (11), 649, 1997
 46. 馬朱紅, 劉心蓮, 尹淑英, 他, 針灸對類風濕性關節炎患者免疫—神經—內分泌系統系的臨床研究, 中國針灸, 17 (9), 529, 1997
 47. 肖偉, 劉新萌, 胡秋炎, 刺血加中藥薰洗為主治療類風濕性關節炎 56 例, 中國針灸, 17 (8), 461, 1997
 48. 魏福良, 鋪灸配合針刺治療類風濕性關節炎 60 例, 針刺研究, 22 (3), 216, 1997
 49. 聶卉, 張玉璞, 董炯超, 艾灸阿是穴治療類風濕性關節炎 20 例, 針刺研究, 22 (3), 217, 1997
 50. 周建霞, 周建平, 陳善龍, 閃刺重針灸法治療類風濕性關節炎 32 例。針刺研究, 22 (3), 217, 1997
 51. 胡雪苗, 內外合治類風濕性關節炎 32 例, 湖南中醫雜誌, 13 (3), 48, 1997
 52. 楊承智, 顏紅, 吳旭初, 穴位注射熱痺靈治療熱痺臨床研究, 中國針灸, 17 (4), 217, 1997
 53. 鄧金峰, 蜂針治療類風濕性關節炎 53 例臨床觀察, 針灸臨床雜誌, 12 (7-8), 52, 1996
 54. 範兆金, 針灸治療類風濕性關節炎 68 例, 新中醫, 28 (9), 30, 1996
 55. 黃迪君, 王再謨, 周志昆, 他, 麥粒灸加叩刺拔罐法治療類風濕性關節炎 120 例, 成都中醫藥大學學報, 19 (1), 17, 1996
 56. 王偉明, 楊臻, 陳漢平, 長期艾灸治愈類風濕性關節炎 4 例, 上海針灸雜誌, 14 (5), 229, 1995
 57. 華雪桂, 蔡德享, 程敏, 針藥結合治療類風濕性關節炎 20 例, 上海針灸雜誌, 14 (2), 64, 1995
 58. 陳桂玲, 張中一, 《內經》刺法治療類風濕性關節炎 40 例, 上海針灸雜誌, 13 (5), 217, 1994
 59. 王偉民, 陳漢平, 隔附子餅灸治療類風濕性關節炎臨床與免疫學觀察, 上海針灸雜誌, 13 (4), 185, 1994

60. 馮建国, 陳漢平, 奚永江, 針灸治療早期類風湿性關節炎鎮痛抗炎作用機理与免疫調節關係的研究, 上海針灸雜誌, 13 (4), 185, 1994
61. 李世光, 超俊萍, 岳月娥, 他, 温針療法对類風湿性關節炎患者免疫調節的影響, 中国康復医学雜誌, 9 (5), 212, 1994
62. 劉心蓮, 劉成貴, 肖君, 他, 温針, 穴位注射治療類風湿性關節炎及細胞免疫功能的影響, 中国針灸, 14 (2), 1, 1994
63. 唐治安, 周振發, 穴位埋線配合火針治療類風湿性關節炎 30 例, 河北中医, 24 (9), 690, 2002

Review of Acupoint Selection Theories in Acupuncture Treatment for Rheumatoid Arthritis in China

Satoshi SUZUKI, Kazu MORI, Kazuro SASAKI, Toshihiro TOGO

*Department of Acupuncture Medicine, Faculty of Oriental Medicine, Suzuka University of Medical Science

Key Words: Rheumatoid Arthritis, Acupuncture and Moxibustion, Acupoint selection, Selection of local points, Clinical general situation

Abstract

Rheumatoid Arthritis (RA) is a chronic, progressive, systemic autoimmune disease that involves large and small joints. The pathological alterations of RA begin with synovitis, which further affects cartilage, ligament, and tendon, resulting in swollen and painful joints. Though RA has raised much debate worldwide due to its high incidence of occurrence and disability, few studies have focused on acupoint selection theories in acupuncture treatment for RA. The author had collated 63 clinical reports on acupuncture treatment for RA that were published in the last 10 years in China and with complete clinical data and reasonable discussion. The author analyzed those reports from the point of acupoint selection. The result showed that in acupuncture treatment for RA, acupoints that belong to Yang Meridians are used with a high frequency.